

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第1回瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成24年4月24日(火) 10時00分～12時00分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1) 会長・副会長の選任について (2) 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョンの変更について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	井原会長，板倉委員，曾我部委員，平尾委員，好井委員，宮本委員，佐伯委員，三井委員，岩瀬委員，八束委員
傍聴者	0人 (定員 10人)
担当課および連絡先	企画課 (839-2135)

会議経過および会議結果

会議の概要は、次のとおりです。

(1) 会長・副会長の選任について

瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第6条第2項の規定により，委員の互選により会長が選任され，副会長は会長が指名した。

会 長 井原健雄，副会長 嘉門雅史

(2) 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョンの変更について

(会長)

議題(2)の瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョンの変更についてですが，その前に新しい委員の方もいらっしゃいますので，定住自立圏の概要等につきまして，改めて事務局から説明をお願いします。

【定住自立圏構想の概要について事務局から説明】

(会長)

共通の理解を深めるため，分野にこだわらず意見を出してほしいと思います。

まず，私の方から意見を言いますと，合併しなくても，定住自立圏の取組は，協力して定住促進を目的として機能強化，連携強化していくことができ，中心市の役割は大事であります。

定住自立圏の視点として，生活機能の強化，結びつきやネットワークの強化，圏域マネジメント能力の強化の3つがあり，国が示した要綱では，視点ごとに各地域の具体的な取組を1つ以上規定しなければいけません，バラバラでは意味がなく，1つの事業をすることにより3つの視点すべてに，効果がでるような施策の連携が必要だと思えますが，この点はどう考えていますか。

会議経過および会議結果

(事務局)

人口定住を図るために、必要な生活機能を確保する観点で、3つの視点単独というのではなく、密接に連携できる取組を、最低1つ各視点から規定するものであり、ビジョンにおいては、多くの取組を規定しており、密接に連携することが必要だと考えています。

(会長)

3つの視点で重なっている部分を重点的に取り組んでほしいと思います。あれもこれもと分散すれば、弱くなっていくので、どんな役割か、どれを機能強化していったらいいかを考えてほしいと思います。

他に質問はありませんか。

(委員)

1市5町から新たに2市と連携した経緯と、県全体の取組状況を教えてください。

(事務局)

まず、中心市と陸地で接しているところと、島嶼部を含めて取り組んでいましたが、さぬき市長と高松市長との間で、一緒にやろうという話になり、これに、東かがわ市も賛同しました。

県内では、中心市として観音寺市、丸亀市が中心市宣言しており、丸亀市においては、協定調印式を先週行っています。また、観音寺市は圏域形成には至っていない状況であります。

(会長)

他に質問はありませんか。

(委員)

ビジョンにおいて目指すべき基本方向として「海園、田園、人間都市づくり」を掲げていますが、「人間都市」の意味について教えていただきたいと思います。

(事務局)

人間都市について、取組の中心を担うのは「人」であり、創造性豊かな海園・田園を作り上げるのは人であるという意味です。

(会長)

それでは、議題(2)瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョンの変更について事務局より説明していただきたいと思います。

【共生ビジョンの変更について事務局から説明】

(会長)

今回、マネジメント能力の強化について、広げているのは非常にいいことだと思います。それでは共生ビジョンについての意見をお願いします。

(委員)

新規の協働企画提案事業についてですが、高松市と周辺市町とが協働して実施する事業のことですか。

(事務局)

協働企画提案事業について、応募する市民活動団体等の条件について、高松市に活動拠点がなくても、圏域内の市民活動団体等であれば応募できるというものです。

(会長)

他に意見はありませんか。

(委員)

人間都市づくりについて、いい作物を作るのも、いい土を作るのも人間であるし、すべて最後は人の心であります。いい環境を作って、いい街を作って、安心して暮らせる、それが定住自立圏の目的であると思います。

これから見直してほしいことは、ビジョンにおける事業を展開することによって、街づくりにどう貢献しているのか、その役割を考えていただきたいと思います。

(会長)

ビジョン6ページの地域資源として、特産品が掲載されてますが、これは結局人間が作っているもので、3つの視点において、人の繋がりとか、共通点のような階層構造を作ればおもしろいと思います。

他に意見はありませんか。

(委員)

瀬戸内国際芸術祭がきっかけで、地域住民に、自分達でなんとかできるのではないかという意識が出てきました。現場で起こっているおもしろい情報や特化したことを、中心市として全部を上から見ていくのではなく、各市町に繋げてほしいです。高松で解決しないことでも、さぬき市や東かがわ市で解決できることもあります。

(会長)

中心市として現場を見ていくことと、県との関わりも非常に重要です。他に意見はありませんか。

(委員)

地域資源は産品だけでなく、産業そのものと歴史であり、意外と気付かない資源もあり、資源をリストアップして、うまく発信していくことが必要であると思います。

連携はうまくいっていると思うので、いかに圏域の中で快適に暮らせるか、県外から来ていただけるかを考えていかななくてはいけないと思います。中心市、関係市町との連携の上に、プロの会社の知恵も借りながら取り組むのも、一つの方法であると思います。

(会長)

ビジョンにおいて、地域資源は特産品に決める必要はないし、資源とは経済学上で、希少性があるもの、限りあるもの、替えがきかないものがあります。もう一度地域資源はないか追求して、それを育成したりすることも必要であると考えます。

他に意見はありませんか。

(委員)

新しい事業に期待していますが、拡大していく必要があると思うし、県外の子ども達を呼び戻すためにも、重点的に行う事業について予算措置を

含めてお願いしたいと思います。

(会長)

財源がなくても、なんとかしようとすることは大事です。新たな視点で他に意見はありませんか。

(委員)

創造性豊かな海園・田園・人間都市づくりという基本方向は、とても大切であると思います。

(委員)

行政の構造を広域でどうやっていくか、領域を超えて地域活性化を図るためには、内部だけではなく、地元、外部の新しい組み合わせで、イノベーションできたらいいと思います。

例えば、さぬき市、東かがわ市は資源が豊富で、これら資源をマッチングさせることもできると思います。

(会長)

勉強会やワークショップを開催するのもいいと思います。

最後に何か意見はありますか

(委員)

今のビジョンは、今をどうするかが多いが、これから将来をどうするかが抜けています。歴史的な資源を活かしつつ子ども達に伝えていくことが必要であると考えます。

(会長)

取捨選択して取り組み、生活の質を高めていきたいですし、さぬき市、東かがわ市が加わり、海を活かすことが非常に重要であると思います。

最後に議題（3）その他ですが、何かありますか。

(事務局)

瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョンについては、5月末の公表を予定しています。また、昨年度同様に、事務を進めてまいりたいと考えておまして、第2回目の懇談会は、7月から8月に開催したいと考えています。

(会長)

ありがとうございました。本日はこれで終わります。